

ギリシャ政府の新型コロナウイルス感染症対策
(感染または濃厚接触判明時の隔離期間に関する新たな指針)

2021年12月31日
在ギリシャ日本国大使館

12月31日、ギリシャ保健機関が、新型コロナウイルス感染症対策の国内向け措置として、感染または濃厚接触が判明した際に必要となる隔離期間に関し、以下のとおり、新たな指針を発表しました。

1 一般市民

(1) 感染した場合

- ・ 5日間の隔離により、他人との接触を避けること。
- ・ 無症状の場合、または熱が下がっていれば5日間で隔離は終了とするが、熱が続く場合については引き続き自宅隔離を継続すること。
- ・ 隔離後も更に5日間、高規格のマスク (FFP2、KN95、N95)、または二重マスクを使用すること。

(2) 感染者と濃厚接触した場合 (濃厚接触の目安：2メートル以内で合計15分以上の接触)

ア 強化接種済者または接種完了後6か月以内の者が感染者と濃厚接触した場合

- ・ 10日間、高規格のマスク (FFP2、KN95、N95)、または二重マスクを使用すること。
- ・ 接触日から5日目にPCR またはラピットテストを受検すること。

イ 接種完了後6か月以上経過した者が感染者と濃厚接触した場合

- ・ 5日間の隔離により、他人との接触を避けること。
- ・ 5日目にPCR またはラピットテストを受検すること。
- ・ 隔離後も更に5日間、高規格のマスク (FFP2、KN95、N95)、または二重マスクを使用すること。

2 医療関係者

(1) 感染した場合

- ・ 5日間の隔離後、無症状又は軽症であれば職場に復帰することが可能。
- ・ 高規格のマスク (FFP2、KN95、N95) 着用すること。

(2) 感染者と濃厚接触した場合

ア ワクチン強化接種済の者が感染者と濃厚接触した場合

- ・ 通常勤務が可能。
- ・ 接触日から3日目にテスト受検すること。

イ ワクチン接種完了者が感染者と濃厚接触した場合

- ・ 通常勤務が可能。
- ・ 接触日から1、3、5、7日目に検査を受けること。

また、感染した際の確認方法について、保健省副大臣が報道機関に対し、ワクチン接種完了者については、ラピッドテストで陽性反応だった場合、その後、改めてPCR検査を受ける必要はないと述べたとのこと。

ただし、ワクチン未接種者で感染証明を得るためには、PCR検査の受験が必要とのこと。

ギリシャでは、感染者に占めるオミクロン変異株の割合が急増し、ここ数日、毎日3～4万人もの記録的な数の新規感染者が確認されており、かつてない勢いで感染拡大が進んでいます。皆様方におかれましては、引き続き感染防止に努めていただきまして、安全・安心な年末年始をお過ごしください。

在ギリシャ日本国大使館

Embassy of Japan in Greece

TEL : 210-670-9910、9911

FAX : 210-670-9981

H P : <http://www.gr.emb-japan.go.jp>

e-mail : consular@at.mofa.go.jp